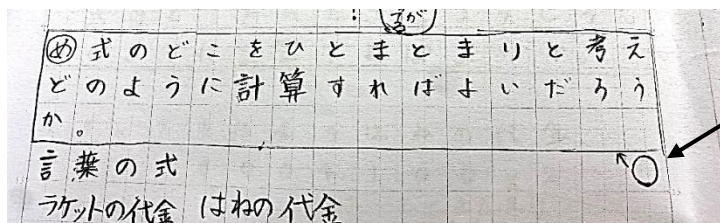


学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	枕崎市立枕崎小学校	児童生徒数	359人
-----	-----------	-------	------

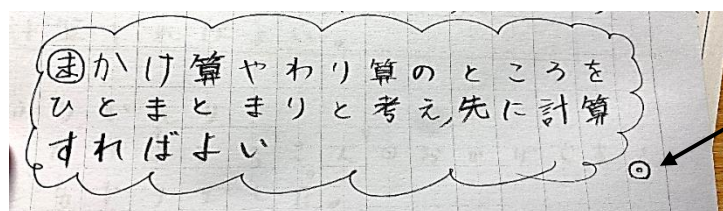
振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等

①記号による振り返り



めあての横に、今日のめあてが現時点で達成できそうかどうかを記号で書く。

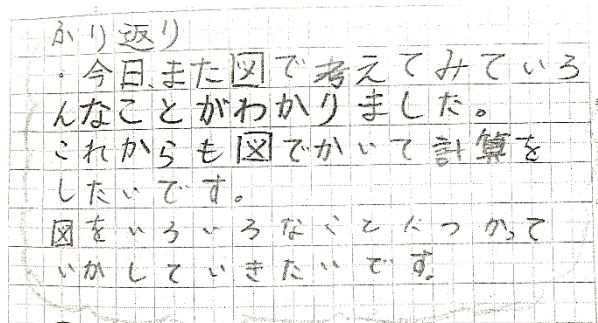
- ◎…自信あり
- …できるかも
- △…できるか自信はない



まとめの横に、今日の学習の理解度を記号で書く。

- ◎…よくわかった
- …まあまあわかった
- △…あまりわからなかった

②文章による振り返り



振り返りの観点

- わ・・・わかったこと
- が・・・がんばったこと
- と・・・ともだちのこと
- も・・・もっとしりたいこと

取組についての概要（成果）

第4学年 算数「式と計算」における実践

- ① 1単位時間の中で振り返りを行う上で、時間確保が課題になっていた。そこで、めあての横に「○」や「◎」などの記号で、その時間の目標が達成できそうか自信度を書く。そして、まとめの横に理解度を記号で書く。

【成果】

- ・時間を多くとらなくてよいので、習熟の時間も確保できる
- ・低学年でも自分の変容に気付くことができる。

- ② 記号による振り返りを行いつつ、時間が確保できそうなときは文章による振り返りも行う。その際、振り返りの観点を示し、振り返りが書けるようにする。

【成果】

- ・自分にどのような知識・技能が身に付いたか確認することができる。これにより、今後の学習に対して、「前の方法は使えないかな」「ほかの場面で使えないかな」などと、見通しを立てて考えることができるようになる。

